

DNEエラーコード表 (DNE4.7以降)

※ エラーコード表の原因・処置によるデバック作業は保守サービス事業者用であり、お客様がエラーコードを確認して修理・デバックを行うことは想定されませんのでご了承ください。

※ 途中でランプや音が変化して状態が移行することがありますので、1分以上待ってから最終的なエラーコードの項目を確認ください。

※トラブル対応フローによってエラーとアラートを分類できます。くれぐれも見間違いにご注意ください。

エラーコードはバッテリーランプと速度モードランプの一方または両方が点滅と消灯で構成され、操作によって手動操縦に切り替えることはできません。

アラートコードは速度モードランプがウェーブ状態で構成され、操作によって手動操縦に切り替えることができます。

※ RRCファームウェアバージョンの差異によって、一部のエラーコードが整理・新設される場合があります。

※ 起動時ではない（パラメータ設定時/ソフトウェアアップデート時/getinfoログ取得時などの）場合のエラーコードは下記と異なります。別紙の作業手順書を参照ください。

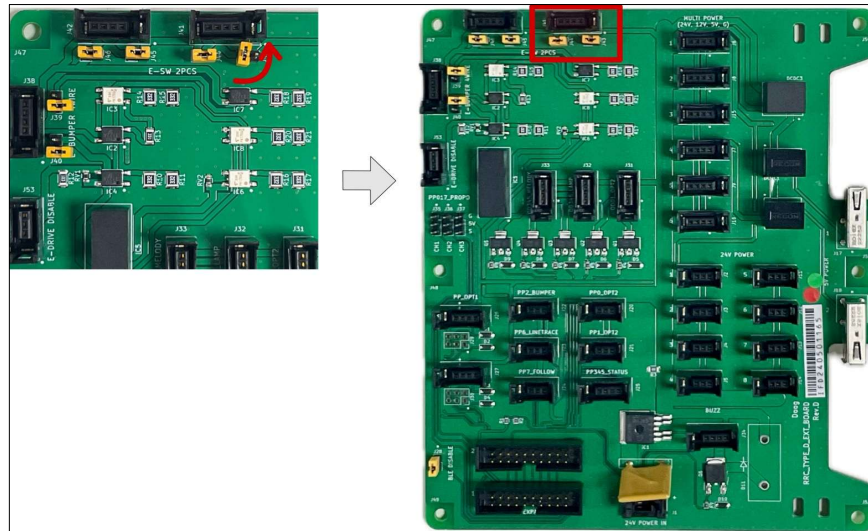
※ DNE4.3以前（主に旧型機のRMS-1000など）の機体は、エラーコードの多くが下記と異なりますのでご注意ください。

再確認などで復旧できる可能性のあるエラー（過放電保護、非常停止、充電器接続、電磁ブレーキ）						
エラーコード表記	バッテリーランプ表示内容	速度モードランプ表示内容	エラー内容		原因	処置
BL10-SL1	★★★★★☆☆☆	10個点滅	●○○○	1 個点滅	非常停止エラー（非常停止回路とIO2検出）	非常停止ボタン及びバンパセンサが動作していることを検知
BL10W-SL0	★○○○○○○○○→ ★●○○○○○○○○→ ★●○○○○○○○○→ ●●● ★★★★★★★★→ ★★★★★★★★→ ★★★★★★★★→ ●●●●●●●●○→ ●●● ★○○○○○○○○→	左記のランプ状態を繰り返す	○○○○	消灯	非常停止エラー予急（非常停止回路とIO2検出） 電源投入後、1分未満の間表示される	電源投入前に非常停止ボタン及びバンパセンサが動作していることを検知
BL6-SL0	★★★★●○○○	6 個点滅	○○○○	消灯	非常停止エラー（INH2検出）	INHIBIT2 に接続された機器が動作している
BL8-SL1	★★★★★★●○	8 個点滅	●○○○	1 個点滅	過放電保護エラー（電池残量）	バッテリー残量がランプ 1 個になってから 1 0 秒後
BL9-SL1	★★★★★★●○	9 個点滅	●○○○	1 個点滅	過放電保護エラー（長時間無操作）	バッテリー残量がランプ 3 個以下で、無操作で 6 0 分経過
BL9-SL5	★★★★★★●○	9 個点滅	★★★★	5 個点滅	充電器接続エラー（INH1検出）	ジョイスティックの充電口に充電プラグがささったまま起動、一部機種では非常停止ボタン
BL9-SL0	★★★★★★●○	9 個点滅	○○○○	消灯	電磁ブレーキエラー	モーター赤レバーが「PUSH」に倒れている
BL0-SL5	○○○○○○○○○○	消灯	★★★★	5 個点滅	無応答エラー	BL7-SL5の状態から、極端に電圧低下してBLが見えなくなる
BL1-SL0	●○○○○○○○○	1 個点滅	○○○○	消灯	低電圧(過放電)バッテリーエラー	長期充電使用せずに放置
						1. 非常停止ボタンまたはバンパセンサが解除されているか確認後、電源再投入し、エラーが再現する場合は次の手順 2. IF基板のJ41またはJ42のコネクタを抜き、抜いた箇所に対応するジャンピンを接続し、電源投入（次ページ参考画像①） 3. エラーが再現したか YES → IF基板・バンパセンサの不具合 → 次の手順 NO → 非常停止ボタンの故障・断線 → 非常停止ボタンの交換対応 4. IF基板のJ38のコネクタを抜き、ジャンピンを接続し、電源投入（次ページ参考画像②） 5. エラーが再現したか YES → IF基板の故障 → IF基板交換対応 NO → バンパセンサの故障・断線 → 次の手順 6. バンパセンサの確認作業 i) 4. で抜いたコネクタを元に戻し、電源投入 ii) 起動する → 断線 → 接触不良を確認した上で直らなければバンパセンサ交換対応 起動しない → 常時オン → バンパセンサを再整備した上で直らなければバンパセンサ交換対応 ※再整備や接触不良の確認後は必ずジャンピンを戻す。その後正しく起動するならば問題ない。 メカロンなど一部機種の非常停止ボタン作動 充電する ※Eシリーズのみエラーとなる場合があります（DNE5.3以降はパラメータ設定が必要） 再起動する ※Eシリーズのみエラーとなる場合があります（DNE5.3以降はパラメータ設定が必要） 充電器の充電プラグをジョイスティックの充電口から抜き、オンボード充電ケーブルを使う、非常停止ボタンを解除 ブレーキレバーを「DRIVE」側へ倒す バッテリー電圧を確認いただき、22V未満の場合はバッテリー交換が必要。過放電しすぎると電源も入らず点灯しないこともある。 充電器の不具合が疑わしい場合は充電器の取扱説明書を参照ください

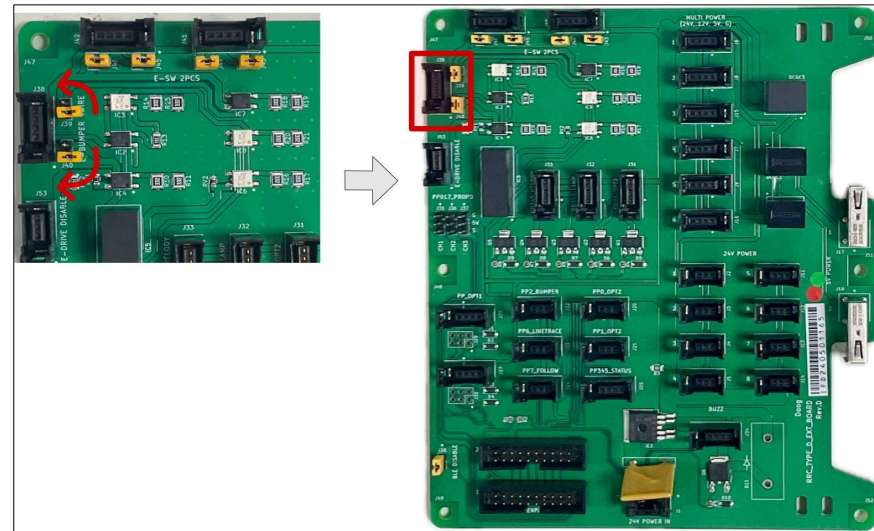
レーザセンサ (LiDAR) のエラー					
エラーコード表記	バッテリーランプ表示内容	速度モードランプ表示内容	エラー内容	原因	処置
BL10-SL3	★★★★★☆☆☆☆	10個点滅	3個点滅	センサ構成チェックエラー	0番センサの車体構成チェックエラー 0番センサ後方のプレートなど車体構造を標準状態に戻す。復帰出来なかったらセンサ故障の可能性
BL0-SL2	○○○○○○○○○○○	消灯	★★○○○	0番：標準搭載の追従・障害物センサエラー	センサの電源ケーブル、LANケーブル不良 1. センサに電源供給されているか確認 電源投入時に他の機器（警報装置など）が起動しているか YES → 次の手順 NO → 電源回路の確認
BL1-SL2	★○○○○○○○○○	1個点滅	★★○○○	1番：ライトレール追加センサエラー	センサの電源ケーブル、LANケーブル不良 2. スイッチングハブの機能、ポートのLEDの点灯状態確認 1つも点灯していない → スイッチングハブの電源コード両側を抜き差し、解決しない場合は交換対応
BL2-SL2	★★○○○○○○○	2個点滅	★★○○○	2番：追加障害物センサエラー	センサの電源ケーブル、LANケーブル不良 ケーブルが接続されているが、点灯しないポートがある → 点灯しない該当するポートに接続されたセンサの電源および通信ケーブルの確認 ケーブルが接続されているポートすべて点灯 → 次の手順へ
BL3-SL2	★★★○○○○○○○	3個点滅	★★○○○	3番：追加障害物センサエラー	センサの電源ケーブル、LANケーブル不良 3. ブラウザのシステムツールでセンサデータの確認（次ページ参考画像㉓） ブラウザのシステムツールが開けない → Doogに連絡 該当するセンサのデータが確認できない → センサのパラメータ設定確認 該当するセンサのデータが確認できる → 次の手順へ
BL4-SL2	★★★★○○○○○○○	4個点滅	★★○○○	4番：追加障害物センサエラー	センサの電源ケーブル、LANケーブル不良 4. センサおよび周辺機器の不良確認 ログデータをダウンロード後、Doogに送付する センサ個体の不良（外観不良、回転不足など） → センサ交換 センサとの通信不良 → LANケーブルの抜き差し、解決しない場合はCTL、センサ、イーサコネクタ交換 ※ DNE4.8.1系にはBL10-SL3がなくBL0-SL2になります
BL5-SL2	★★★★●○○○○○	5個点滅	★★○○○	5番：メモリレール追加センサエラー	センサの電源ケーブル、LANケーブル不良

その他のシステムエラー							
エラーコード表記	バッテリーランプ表示内容	速達モードランプ表示内容		エラー内容	原因	処置	
BL7-SL5 (アイドル)	★★★★★○○○	7個点滅	★★★★	5個点滅	無応答エラー	1. 他のエラーコードも10分経過したらこれになるため、直前までのエラーコードを確認 2. 電源投入時からすぐにこのエラーになるならば、その旨を保守サービスで詳細確認 3. 起動してしばらく正常に動作して突然このエラーになるならば、その旨を保守サービスで詳細確認	
	電源ボタンを押してから1分以上、変化が無い (速達モードランプは1個点灯が順番にスワイプを続ける)			アイドル状態から変化しない	システム部品の故障や接触不良	「アイドル状態から変化しない」と保守サービスへ連絡	
BL2-SL0	★★●○○○○○○○	2個点滅	○○○○○	消灯	モーター接続不備不良	モーターケーブル接続不良又はモーター不良	
BL3-SL0	★★●○○○○○○○	3個点滅	○○○○○	消灯	モーターケーブル接続不良又はモーター不良	モーターケーブル接続不良又はモーター不良	
BL4-SL0	★★★★●○○○○○	4個点滅	○○○○○	消灯	モーター接続不備不良	モーターケーブル接続不良又はモーター不良	
BL5-SL0	★★★★●○○○○○	5個点滅	○○○○○	消灯	モーターケーブル接続不良又はモーター不良	モーターケーブル接続不良又はモーター不良	
BL7-SL0	★★★★★○○○	7個点滅	○○○○○	消灯	制御エラー	パワーモジュールまたはモーター不良	
BL8-SL0	★★★★★●○○○	8個点滅	○○○○○	消灯	制御エラー	バッテリー電圧が急速に低下	
BL6-SL5	★★★★★○○○	6個点滅	★★★★	5個点滅	ジョイスティック故障エラー	ジョイスティック故障	
BL8-SL5	★★★★★●○○○	8個点滅	★★★★	5個点滅	RRCエラー	RRCエラー	
BL2-SL4	★★●○○○○○○○	2個点滅	★★★★	4個点滅	RRCエラー	RRCエラー、端子台、コンタクト記録の断線など	
BL*-SL4	1個/3個/4個/5個点滅		★★★★	4個点滅	RRCエラー	RRCの分類済みエラー	
BL*-SL3	0個/1個/10個点滅		★★★★	3個点滅	デバイス系エラー	その他のデバイスに関するエラー	
BL*-SL1	1個/2個/3個/4個/5個/6個/7個点滅		○○○○○	1個点滅	システム系エラー	不特定のシステムに関するエラー	
						再起動させて同じエラーになるかをみる。再発する場合は保守サービスで詳細確認 IFボードと端子台、コンタクト間の断線など。再発する場合は保守サービスで詳細確認 コントローラ付近の配線を確認。再発する場合は保守サービスで詳細確認 再起動して再発するか確認頂き、再発する場合は保守サービスで詳細確認 コントローラ付近の配線を確認。解決しなければ保守サービスで詳細確認	

参考画像① 非常停止ボタンの故障確認



参考画像② バンパセンサの故障確認



参考画像③ ブラウザのシステムツール

RMS-05E2-002

[Sample Applications](#)
[Custom Applications](#)

MQTT over WebSocket ☐ with TLS

- address 192.168.212.1
- port 8080
- username mqtt
- password (internal_default)

save in Cookie reset

Internal System Tools

System Clock: 1971-11-24 09:00:33
Serial: RMS-05E2-002
Version: DNE5.2.4.8.1 & RRC5.5.5
Short Option: D)U0LDSE310E-D)U1S05E-D)U5LDSE310E

Doog Inc.